

市民の生命・財産を守る責任

このたびの東日本大震災で被災された多くの市民の皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

観測史上最大の地震とその後の大津波により、日本各地で甚大な被害が発生しました。

茨城県内におきましても、沿岸部においては多くの犠牲者が出ております。

幸いにして、つくばみらい市では犠牲となられた方はおりませんでした。が、屋根瓦の崩落、塀の倒壊など多大な被害が発生しております。公共施設においても、市内道路113箇所で亀裂や陥没が発生し、学校施設においては、壁に亀裂が生じるなどの被害が発生しており、全力を挙げて復旧に努めているところです。

さらには、東京電力福島第一原子力発電所での事故により、農産物の出荷停止などの二次被害も深刻なものとなっており、米の作付けについても不安をお持ちの方が多くおられることと思います。農業を基幹産業とするつくばみらい市においては、これは死活問題であります。『つくばみらい市の農産物は安全です』。

政府においては、地域ごとに出荷停止解除の検討を始めたところでありますが、早急に実施



災害対策本部会議の様子

するよう働きかけを行ってまいります。

震災発生以降、多くの市民の皆様が心温まる支援活動や義援金への心遣いに触れ、誇りに思い、深く感謝を申し上げます。

私は、この震災を経験し、改めて危機管理の重要性を痛感いたしました。これまで以上に、市民の皆様とともに、災害に強い、安心・安全に暮らせるつくばみらい市にしたいです。ご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

がんばろう！日本

がんばろう！つくばみらい

つくばみらい市長

片庭 正雄

大

災害が発生すると、水、電気、ガス、通信などライフラインが停止する可能性があります。

復旧するまでの間、自宅でも生活ができるように、水や食料、生活用品を備蓄しておきましょう。

水は、1人1日3リットルが必要です。非常食も最低3日分用意しておきましょう。また、ラジオや懐中電灯など、すぐに必要になるもの、なければ困るものを考えて用意しましょう。特別なものを用意するのではなく、普段の生活で必要なもの・使用しているものを。赤ちゃんがいる家庭では、ミルクや哺乳びん、離乳食、オムツ、おぶい紐、バスタオルなどを追加しておきましょう。携帯用カイロや保険証・免許証のコピーなどがあると便利でしょう。

災

害時には、電話やインターネットなどがつながりにくくなります。日頃から、家族の安否確認の方法、集合場所などを話し合っておきましょう。

今回の地震でも、電話がつながりにくく、家族や親類、大切な人の安否確認ができず、不安な時間を過ごした方が多いことと思います。そんな時こそ、災害用伝言ダイヤルを活用しましょう。

災害用伝言ダイヤルにメッセージを残すには、①171をダイヤル②「1」(録音)を選ぶ③自分(被災地)の電話番号をダイヤル④メッセージを録音。

メッセージを聞くには、①171をダイヤル②「2」(再生)を選ぶ③被災地の方の電話番号をダイヤル④メッセージの再生。

市

では、全国瞬時警報システム(J-ALERT)を導入しています。これは、市の防災無線を国が直接操作して、緊急情報を市民の皆さんに瞬時にお知らせするものです。

この緊急地震速報は、茨城県南部を区域とし、推定震度が5弱以上の場合放送されます。この情報は、緊急情報であるため、24時間いつでも自動的に放送されます。放送内容は「緊急地震速報。大地震です。大地震です」を3回繰り返した後「こちらは防災つくばみらいです」が鳴り放送が終了します。

テレビやラジオを通して発表される緊急地震速報や、市の防災無線から放送される緊急地震速報を誤報と決め付けず、まずは身の安全を確保しましょう。

避

難勧告や避難指示が出たときには、速やかに避難しましょう。地震の時には、塀の倒壊やガラス飛散などに注意しましょう。また、避難所や道順などを確認しておくことが大切です。

市内の避難所は、茨城県立伊奈高等学校、茨城県立伊奈養護学校、市内各小中学校、総合運動公園、総合福祉施設きらくやまふれあいの丘、谷井田コミュニティセンター、小絹コミュニティセンター、板橋コミュニティセンターです。

市では、平成20年度に「つくばみらい市ハザードマップ」を各世帯に配布しました。もう一度確認してください。なお、ハザードマップは、市民窓口課(両庁舎)でも配布しています。